

令和6年度 授業づくりシート

教科名 自立活動		6 学年
単元名	「ルールを守って、ゲームをしよう。」	
単元の目標	・見通しをもって活動に取り組むことができる。 ・友達を意識して活動することができる。 ・ゲームのルールや決まりを守ることができる。 ・友達や教師と適切な関わり方をすることができる。	
児童の実態	A 児	個人情報のため省略
児童の個別目標	A 児	・簡単なゲームのルールを理解し、友達と一緒に楽しむことができる。 ・ゲームを通して、友達や教師と適切な関わり方をすることができる。

○活動内容と具体的な手立て

活動内容	児童の予想される言動	具体的な手立て
・ 始めの挨拶	・ 自席に自ら座ることが難しい。	・ 自席に座るように言葉をかけて促す。
・ 箱積みゲームをしよう！	・ 活動内容がわかり、活動に自ら取り組めることもあるが、ルールを守らずに進めることがある。	・ 教師が手本を示し、正しいやり方を確認する。 ・ ルールが守れたときは、称賛する。
・ ひっくり返しゲームをしよう！	・ ルールを理解した上で、違う行動をする。 ・ 一緒にゲームをする友達に不適切な関わり方をする。	・ 教師が近くで見守り、正しい関わり方をイラストカードで示したり、言葉をかけて促したりする。
・ 終わりの挨拶	・ 自席に自ら座ることが難しい。	・ 自席に座るように言葉をかけて促す。

○展開

時配	活動内容と教師の支援	該当児童
1 分	○始めの挨拶 ・ 挨拶と出席確認をする。	
9 分	○箱積みゲームをしよう！ ・ 毎回、教師がルールを確認する。 ・ ルールが逸脱した場合は、その場で指摘し、正しいやり方を教師が手本を示す。	A 児
9 分	○ひっくり返しゲームをしよう！ ・ 毎回、教師がルールを確認する。 ・ 友達を意識できるように一緒に組むペアを決めた後、握手をしてから始めるようにする。 ・ 結果発表の際に勝敗に応じてイラストカードを提示して、ハイタッチや握手をするように促す。	A 児
1 分	○終わりの挨拶 ・ 次回の活動内容を告知し、挨拶をする。	

○児童の授業に取り組む様子

A 児	・ 初めはやることが理解できず、設定されたルールの中で活動に取り組むことができなかったが、繰り返すことでやり方を覚え、ゲームを行う姿が見られた。少し理解が難しかったかもしれないため、内容の簡略化が必要であったと感じる。 ・ ゲームが終わった後のペア同士のハイタッチや握手はイラストカードを見せることで自ら友達に関わろうとする姿があり、初めは強かった接触も、適度な力加減で行うことができるようになってきた。「優しくね。」の言葉かけも繰り返せば身に付くことがわかった。 ・ ゲームや結果を待っているときに落ち着かず離席したり、道具を触ったり、投げたりする行動が見られたが、活動に見通しがもてると落ち着いたように感じる。
-----	---

グループ全体の反省・課題 等
・ 授業を通して友達を意識して活動したり、他者と望ましい関わりをしたりするなど、コミュニケーションにおける目標を意識した授業展開ができ、児童も授業の中で他者との関わりを意識できていてよかった。 ・ 児童の実態が多岐に渡ることで、授業の目標が高すぎる児童や容易である児童がいたため、目標設定の難しさを感じた。 ・ ルールや決まりが理解できなかったとしても、繰り返し取り組むことで見通しをもつことができ、内容がわからないながらも意欲的に授業に参加できる児童が多かった。授業展開を行う際には、児童が「楽しい！」「もっとやりたい！」と思える内容に取り組むことが大切だと感じた。